

牛のサルモネラ症が発生しています！

令和2年は、道内ではサルモネラ・ティフィムリウムその他、サルモネラ・ダブリンによるサルモネラ症が多く発生しました。宗谷管内では令和3年3月にサルモネラ・ダブリンによる牛のサルモネラ症が1件発生し、関係機関が協力して防疫対策を実施しています。

牛のサルモネラ症では、主に発熱（40℃前後）や下痢（軟便～水様性、時に血便など）、などが認められますが、サルモネラ・ダブリンによるサルモネラ症では発熱、流産、呼吸器症状が主な症状となることが多いので注意が必要です。

発生すると乳量は低下し、重症牛では死亡するなど経済的な損失は甚大です。飼養衛生管理基準を遵守し、発生防止対策を徹底しましょう。

宗谷管内 牛のサルモネラ症の発生状況		
発生年月		発生件数
H29年(2017年)	4月	1件
H30年(2018年)	11月	2件
H31年(2019年)	4月	1件
R1年(2019年)	11月	2件
R2年(2020年)	10月	1件
R3年(2021年)	3月	1件

令和2年(1月～12月) 道内における牛のサルモネラ症発生状況		
	発生戸数	発生頭数
真症	65戸	227頭
疑症	1戸	3頭

< サルモネラ症の発生防止対策 >

- ◆ 農場出入り口に石灰帯、牛舎には踏込み消毒槽を設置し、消毒を徹底しましょう。
- ◆ 飼槽やウォーターカップ、使用器具は定期的に消毒しましょう。
- ◆ 野生動物の侵入防止対策を徹底しましょう。
- ◆ 飼養牛に異常が見られたら、すぐに獣医師の診察を受けましょう。

※ 多くの消毒薬（逆性石けん、塩素系消毒薬）や消石灰などがサルモネラ菌に対して有効です。



消石灰帯



長靴の消毒



野生動物対策



ほ乳器具の消毒

北海道宗谷家畜保健衛生所

電話：01634-2-2106 FAX：01634-2-4340